



慶應義塾大学ビジネス・スクール

JA長野厚生連佐久総合病院(B)

5

2014年、JA長野厚生連佐久総合病院（以下「佐久病院」と表す）は大きな変革を成し遂げた。3月1日、長野新幹線（2015年からは北陸新幹線）佐久平駅近くに450床の佐久医療センターを開院させ、佐久市臼田に320床の佐久総合病院本院を残すという、全国でも珍しい分割移転が実現することとなった。それまでは現本院の場所に位置した821床の病院1軒の体制であった。

10

長野県東部の佐久地方は千曲川に沿い、上流から南佐久郡、佐久市、北佐久郡、小諸市が並び、米作に加え、果樹と花高原野菜栽培が盛んな準農業地帯である。近年、長野新幹線や高速自動車道の開通により、首都圏からのアクセスが飛躍的に改善された反面、南佐久地域の過疎化が進み、高齢化率も30%を超えていた（資料1）。

15

佐久病院は、「予防は治療に勝る」の信念に基づき、長野県の農村で健康な人を対象とした集団検診を初めて開始したことで知られていた。また、“農民とともに”の精神に立脚した農民のための医学、すなわち農村医学を確立し、地域医療の発展に大きな貢献を果たしてきた。佐久病院に所属する医師の数は200名を超え、これは大学病院を除いた甲信越地域の病院では最大数であった。これに対し、佐久病院以外では医師不足による医療崩壊が進行しており、東信地域でも医師の偏在化が問題となっていた。

20

25

本ケースは、討議の資料とするために、JA長野厚生連佐久総合病院の全面的協力の下、慶應義塾大学名誉教授 田中 滋による監修を得て、同大学院修士課程 西江健一によって作成された。なお、ケースは経営の巧拙を記述したものではない。本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 田中 滋、西江健一（2015年5月作成）